

地域医療体制の充実に関する要望書

に対する回答がありました。

平成31年第1回定例会において決議した、地域医療体制の充実に関する決議を要望書として、茨城県厚生農業協同組合連合会代表理事理事長へ提出いたしましたところ、令和元年5月24日に回答がありました。

【要望書への回答要旨】

土浦協同病院なめがた地域医療センターの診療体制について
・常勤医師 (平成31年4月から) 10名体制。随時増員に努める。

・外来機能

診療科は基本的に従来どおり。土浦協同病院からの医師派遣により充実を図る。人工透析も継続する。

・入院機能

地域包括ケア病棟49床に再編、維持



・議長に回答書を提出する厚生連 小堀 代表理事理事長

・救急患者の対応

診療時間内は、従来どおり。休日・夜間は土浦協同病院で対応。

・その他

各種健康診断・人間ドックも継続。訪問リハビリに加え、訪問看護を実施。

・今後の在り方

地元行政、県、関係機関等を構成メンバーとする機関を設置し、今後の在り方を協議・検討する。

また、回答書の説明を受けて、議員より次のような質疑がなされました。

○救急の手術には対応できるのか？

■現在、麻酔科の先生がいなかったため、局部麻酔の手術までの対応となっている。夜間・休日、大きな手術については、土浦協同病院で対応する。

○救急医療の設備はどうなるのか？

■今後、病院の方向性も含めて検討を行っていくところなので、現段階では、しばらくの間休止という対応になっている。

○要望書提出の際に、元通りになるよう最善の努力をするとの言葉を頂いたが、その考えに変わりはないか？

■199床あった病床の稼働率が50〜60%であった経過もあり、全て以前と同じよう「元通り」は難しいが、できるだけ地域の期待に添えるよう、在り方について検討していく。

委員会レポート

委員会では、付託された議案等の審査や所管する事項の諸問題について調査を行っています。

《教育厚生委員会》

委員長 高木 正

6月27～28日

●教育厚生委員会において、6月27日から28日にかけて、管内施設の視察を行いました。

27日は、地区学習センター（玉川・現原）・地区館（小高・大和・要・武田）における現状の視察として、現地を回り、使用頻度や建物の老朽化の状況などの確認と、麻生運動場体育館及び弓道場の突風被害箇所の復旧状況、麻生運動場多目的グラウンド・麻生公民館の改修工事の結果についても確認を行いました。

また、今後の行方市の教育・生涯学習施設の在り方について共通の認識を持つため、教育委員の方々を招き、視察を行った各地区施設の今後についてや、行方市の教育に関する良い面、改善すべき面についての意見交換、情報共有を行いました。

28日は、グループホームいっしん館（麻生）、放課後児童クラブ（麻生東キッズ・玉造キッズ）、土浦協同病院なめがた地域医療センターに伺い、現状と今後の課題などについて、説明を頂きました。

グループホームいっしん館（麻生）はユニットケアの施設で、1階、2階にそれぞれ9名、合計18名の方が共同生活を送られています。3人に対して1人の割合でスタッフがおり、職員は1階6名、2階6名の計12名で、入所者のみなさんとは家族のように接しているとお話を伺うことができました。

放課後児童クラブでは、各キッズにおける平均利用数や、防犯カメラ・インターホンの設置などの現在行っている防犯対策

策のほか、改善が必要な点などを支援員の方々に伺いました。また、実際に子ども達が利用しているところを拝見し、部屋の大きさや運営状況についても視察させて頂きました。

土浦協同病院なめがた地域医療センターでは、今年4月からの診療体制の変更に伴い、現在の体制や患者数の推移などについて説明をいただきました。

外来診療については、なるべく各診療科においてまんべんなく診療を行えるよう体制を整えていることや、小児科の先生の常勤化を目指し調整を行っていることなど、病院の現状について伺いました。その他にも、次のような質疑がありました。

○救急車の出勤時間について

■対応の徹底により、4月の救急搬送時間は結果的に短くなっている。ただし、救急外来を夜間休日に行えないままで良いと考えているわけではないため、今後検討を重ねていくべき問題である。

○休日・夜間の受け入れについて、特別な事情がある場合は行っているのか？

■退院して間もない患者さんの容態が悪くなった場合等は受け入れを行っている。また、患者さんの情報はシステムによって、土浦協同病院と共有されているので、その他の場合でも土浦協同病院で受け入れが可能である。



・現在休止中の病棟を見学

表彰されました

全国市議会議長会と茨城県市議会議長会から永年勤続議員として地方自治の発展と市政振興に努めた功績を称え、次の議員が表彰されました。

鈴木 義浩	議員
宮内 守	議員
高柳孫市郎	議員
鈴木 裕	議員
貝塚 俊幸	議員
土子 浩正	議員
栗原 繁	議員



右から鈴木義浩議員、宮内守議員、高柳孫市郎議員、鈴木裕議員、貝塚俊幸議員、土子浩正議員、栗原繁議員

今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

ちょっとひと言!!

市民の声



市民が市報委員の皆さんに、行方市に寄せる思いをインタビューしました。



はかなりの時間はかかりますが、開通したら全国各地から茨城・行方市へ足を運んでくれることを望んでいます。

行方市には、正直「観光地」が少ないと感じます。市町村・地域・行政と連携を取り、それぞれの特産物を活かした活動を取り入れて欲しいと思います。人口増加、若者が集まるような行方市となることを強く望んでいます。
(20代・女性)

●スクールバスで通学する学区での、夏休み中などの部活動への送迎に、保護者はちょっと悩んでいます。部活動へ行く方法で、市営バスのルートの中に、子供たちにも利用できるルートがあればすごくありがたいと思います。

(例) 朝の時間、中学校前まで運行
(例) 昼の時間、中学校からスタートするルートなど

大人から子供たちまで利用できる市営バスのルートがあると、すごくありがたいです。
(40代・女性)

●他市より行方に嫁いで数年、子育てしながら思うこと。公園が少ないのが残念です。公園は色々な年頃の子ども同士が交流したり、地域の人達が自然に集まる場所。そんな公園がもっと

あれば良いと思います。そして感心したこと。道ですれ違う子どもたちが「こんにちは」と挨拶してくれます。以前住んでいた所では、知り合いでなければ無いことです。清々しい気持ちで一杯になります。いつまでもそんな行方であってほしいと願います。
(40代・女性)

●なめがたエリアテレビについて、すべての地域で見られるようにして欲しいです。

友人達から話を聞くと、面白そうだと思うのですが、残念ながら私の地域ではまだ見ることができません。

どうか早くすべての地域で見られるように、整備をお願いします。
(60代・女性)

●最近、なめテレを観るのが、楽しみになってきましたが、もう少し工夫を凝らすと良いなと思う内容が議会中継です。

中継が中断されている間、音楽と霞ヶ浦の景色が映されています。生放送なので納得は出来るのですが、この時間を利用して議員や市役所部長の紹介、課の案内等を放送していただけると、更に良い議会中継が出来るのではないのでしょうか。

今後のなめテレを期待しています。
(50代・女性)